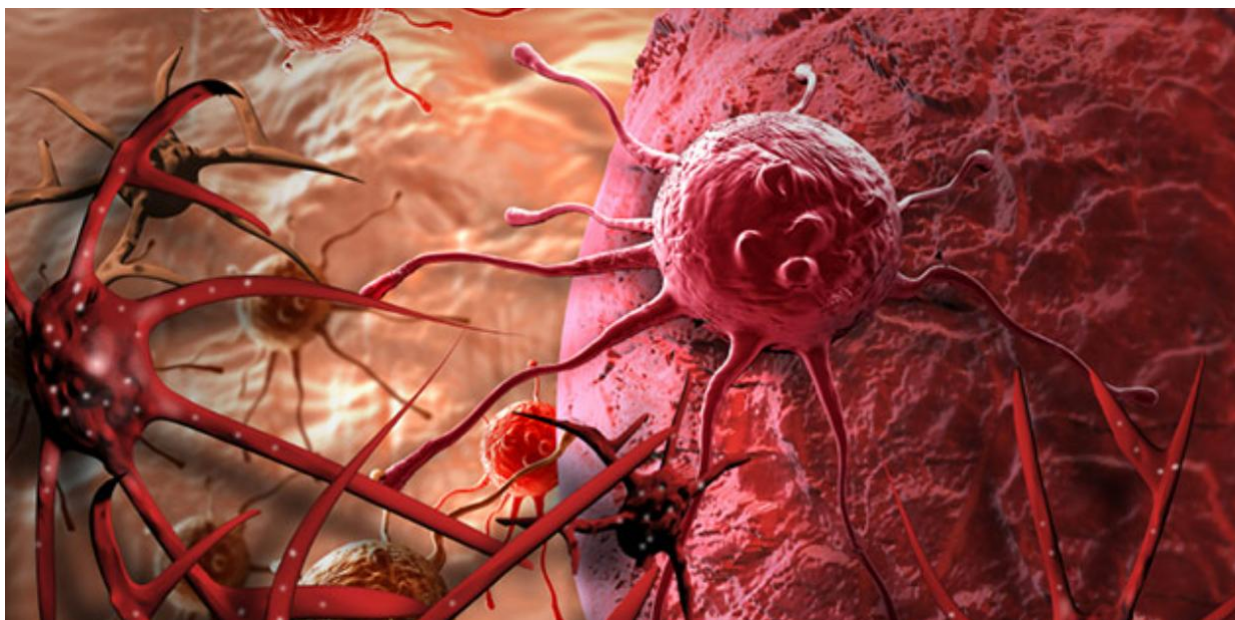


大腸がんとお酒について

米臨床腫瘍学会のがん予防委員会は、「過剰な飲酒はがんの危険性を高める可能性がある」として、アルコールを飲み過ぎないように注意を呼び掛ける声明を発表しました。

声明によると、喉頭、食道、肝臓、大腸、すい臓のがんの危険性が高めると警告。



世界で新たにがん患者となる人の5・5%、がんによる死亡者の5・8%は飲酒が原因と考えられています。

